



作成日 2006年10月4日

作成者 事務所 石田俊文

確認日

1900年1月0日

確認者

1900/1/0

(1) 建物概要

建物名称	(仮称)エスリード京都西院新築工	敷地面積	2,241 m ²	外観/パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅	建築面積	870 m ²	
建設地	京都市右京区西院六反田町18番	延床面積	4,476 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上10F	
地域・地区	工業地域、準防火地域	構造	RC造	
竣工年	2008/2/末 予定	平均居住人員	204 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1

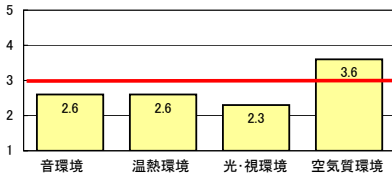
Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ= 2.8

Q-1 室内環境

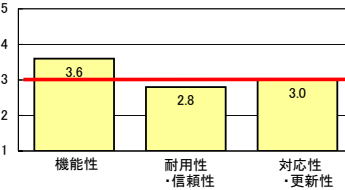
スコア(評価点):

SQ1 = 2.7



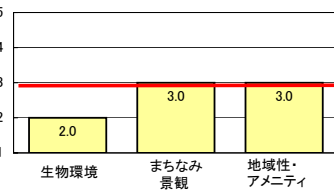
Q-2 サービス性能

SQ2 = 3.1



Q-3 室外環境(敷地内)

SQ3 = 2.7



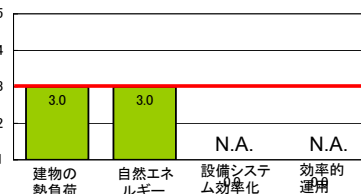
LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 2.7

LR-1 エネルギー

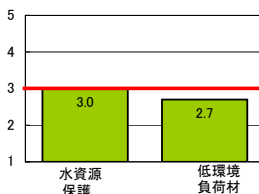
スコア(評価点):

SLR1 = 3.0



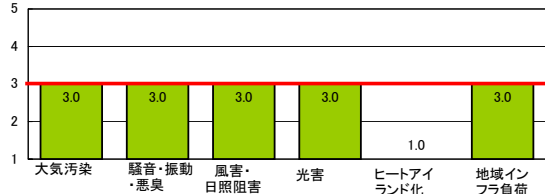
LR-2 資源・マテリアル

SLR2 = 2.7



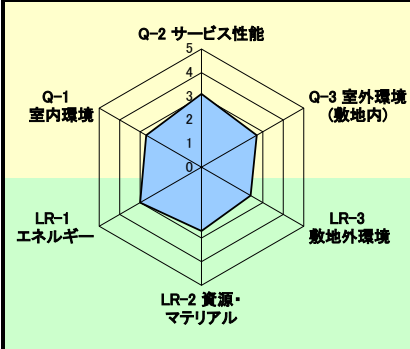
LR-3 敷地外環境

SLR3 = 2.4



(2)-2 環境性能評価結果(レーダーチャート)

注1



(2)-3 環境性能効率

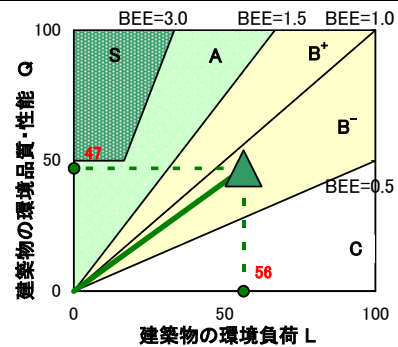
BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{47.0}{56.2} = 0.8$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²		
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²		
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²		
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²		
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²		
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²		

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階

有資格者による設計

建設段階

環境管理計画